令和６年度　全国学力・学習状況調査の結果について

坂祝町教育委員会

１．調査の概要

（１）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（２）調査の対象学年　　小学校第６学年　　中学校第３学年

（３）調査の内容

①児童生徒に対する調査

・教科に関する調査（国語、算数・数学）

・質問調査（学習、生活の諸側面）

②学校質問調査

（４）調査日　令和６年４月１８日（木）

２．調査結果の分析及び今後の取組について

＜教科の結果一覧＞

【国との比較：◎良好（+３％以上）　〇同程度（±３％）　△弱い（－３％以下）　―設問なし】

教科	観点		小学校	中学校
国語	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	〇	〇
		(2) 情報の扱い方に関する事項	〇	〇
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	◎	◎
	思考力、判断力、表現力等	A　話すこと・聞くこと	〇	〇
		B　書くこと	◎	△
		C　読むこと	◎	△
算数数学	A　数と計算		◎	(A　数と式) △
	B　図形		◎	△
	C　測定		－	(C　関数) 〇
	C　変化と関係		〇	－
	D　データの活用		◎	△

＜小学校＞

国語では、平均正答率は全国平均と同等の結果でした。目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように工夫して書く力が身に付いています。自分の考えを伝えるために、相手にわかるように短い文で伝えることや、集めた情報や材料を結びつけたり、共通点を見つけ出したりする力を伸ばすことが今後の課題です。

算数では、全国平均より高い結果でした。記述式の問題では題意をつかみ、答えになる理由を問題中にあるキーワードを使って記述することができています。文章問題を解くときに、図や数直線図などに表して具体的に思考する力を伸ばすことが今後の課題です。

質問紙調査の結果からは、学習や生活に意欲的に取り組んでいることが伺えます。特に「自分には良いところがありますか」「友達関係に満足していますか」「算数の勉強はよくわかりますか」という問いでは、「当てはまる」と回答した児童が全国比を上回っています。一方、「わからないところは自分で学び方を考え工夫していますか」「課題に対して自分の考えをもち、自分から取り組んでいますか」という問いは全国比よりやや下回っています。

自分の考えを仲間と交流する活動を多く仕組むことで、新たな考え方に気付き、課題解決に向けての自己調整力を養うことを大切にしていきます。

＜中学校＞

国語では、平均正答率は全国平均と同等の結果でした。具体と抽象など情報と情報との関係について、また文の成分の順序や照応について理解する力が身に付いています。目的に応じて必要な情報に着目しながら要約する力や、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫して表現する力を伸ばしていくことが今後の課題です。

数学では、全国平均よりやや下回っている結果でしたが、問題場面における考察の対象を明確に捉える力は身に付いています。様々な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力や、複数のデータ分布の傾向を様々な観点で比較して捉える力を伸ばすことが今後の課題です。

質問紙調査の結果からは、「自分には、よいところがありますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という問いでは、「当てはまる」と回答した生徒が全国比と同等でした。一方、「将来の夢や目標がある」という問いは全国比よりやや下回っています。

要約、説明、論述、話合い等の言語活動を工夫し、相手意識や目的意識を大切にしながら、自分の考えを相手に伝える活動を大切にしていきます。データの活用においては、データを言葉や数を使って表現する活動の機会を増やしていきます。また、多くの人との関わりを通じて、自分自身の進路・生き方を考えるキャリア教育の充実を図っていきます。

＜その他＞

「毎日朝食を食べている」「同じくらいの時刻に寝ている・起きている」と回答している児童生徒は、全国比より上回っており、規則正しい生活習慣を身に付けていることが伺えます。家庭学習の習慣化、ＳＮＳの利用、ゲームや動画視聴の在り方については、家庭と学校が連携を図り、今後も見届けていくことが重要です。

坂祝町の子どもたちは、「自分のよさを活かしながら、人のために役立ちたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と願う子が多いことが伺えます。地域の中では、地域行事に参加している子の割合が高く、地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらう機会を多くもつことができています。子ども達は、地域の中で多くのことを学びます。今後も学校・家庭・地域のつながりを活かしながら、子どもたちと関わり、成長を見守っていくことができるとよいです。